



FamilyMart
南九州ファミリーマート

事業内容

株式会社南九州ファミリーマートは、1993年に設立。鹿児島・宮崎両県でファミリーマートのフランチャイズ展開を行い、店舗を創り支える業務を行っている会社です。

● 学生サポーター的の魅力ポイント ●

店舗に寄り添う、地元に寄り添う

南九州ファミリーマートは鹿児島・宮崎両県でファミリーマートのフランチャイズ展開を行い、店舗を支える業務を行っています。鹿児島の食材を利用した地域限定品や地元の幼稚園でのイベントなど、鹿児島に新たな元気を創る取り組みも行い、地元に密着している点に魅力を感じました。また、TOD^{*}を始めとした社内環境の整備にも力を入れており、働き方改革に取り組んでいます。

※TOD…「ちょっとお茶でもどう？」の略称で、社長と気軽に話すことのできるイベント

仕事内容

ファミリーマートには地域の方々の生活をより一層便利にする役割があります。有留さんの業務はどのような売り場を作るのか、来店客と店舗の二つの目線から考察し、店舗の方と一緒に店づくりをしていくうえでアドバイスや提案をする仕事です。スーパーバイザーと呼ばれ、こういった商品をお客様が必要としているのか常にアンテナを張り、店舗が最適な形で運営されるように多角的な視点から物事を判断する必要があります。責任とそれに伴う大きなやりがいを得ることができると話します。



入社1年目
有留 維織さん



● TOD(ちょっとお茶でもどう?)の様子

TODとは?

TODとは「ちょっとお茶でもどう？」の略称で、社長と気軽に話すことのできるイベントです。ここでは社員が社内の改善案や意見を社長に直接提案し、風通しの良い社内の実現に一役かっているそうです。社長のスケジュールの空きを見ながら頻りに開かれているそうです。



● 鹿児島らしさの詰まったポスター



● 「落ち着く」がテーマの商談室



● カジュアルな雰囲気のおフィス

地域貢献

南九州ファミリーマートは地域に貢献するという理念を掲げています。店舗周辺に住んでいる子供を招き、子供店長になってもらうというイベントも行われています。また先日の台風の際には、近隣の食料品を販売する店舗がお店を閉める中、安全に配慮しながらファミリーマートは物を買えずに困るお客様のために店を開き、商品の販売を行ったそうです。このように地域住民のために日々努力を重ねる姿勢は素晴らしいと感じました。



今後の展開

●ファミリーマートに携わる方々と お客様が幸せな気持ちでいてほしい

店舗責任者や従業員と、地域のお客様の両方の立場に立って店舗運営を支えていきたいと話す有留さん。双方の立場の意見を聞き、バランスの良い提案を導くことは大変難しいことだと感じました。しかし、「自分が担当する店舗で働く方々や、その店舗を訪れるお客様が幸せな気持ちになってほしい」と意欲的に話されており、丁寧に仕事に向き合っている方だなと感じました。



● 全社でフードロス対策を行っています

＼採用担当から学生へのコメント／



成熟期を迎えているコンビニ業界は、新たな価値提供が求められています。そのため新しい発想、新しい価値観を持つ若者がガンガン増えてほしいと考えています。皆さんには自分の個性を大切にしながら、それを社会で発揮する方法を見つけ出してほしいです。

南九州ファミリーマート
採用担当者 岩川さんからのコメント



取材後の感想



西原 来海さん

鹿児島大学の近くにも店舗があり、私も利用する機会が何度もあります。話を聞く前は、客目線で地域限定商品やコラボ商品を購入していました。しかし、今回の取材を通して、ファミリーマートが掲げる理念や企業として果たすべき役割や責任など、商品を提供する立場に立ってファミリーマートについて学ぶことができました。



矢島 海音さん

身近にあるファミリーマート。コンビニだから便利で必要なものがあって当然、という風感じていましたが、実際に話を伺うと底知れない企業努力がされていると改めて感じました。地域のニーズに合わせた商品の配置や認知向上のための一日子供店長など様々な努力をひたむきに行う姿勢を見て、自分ももっといろいろチャレンジしてみようと思いました。



中園 舜さん

インタビューで本社を訪れた際まず目に入ったのが、ハロウィン仕様に飾りつけされ遊び心であふれたオフィスでした。TODという社長と社員が顔を合わせて話すことができる取り組みにも驚き、社内の雰囲気向上に非常に気を配っている企業であると感じました。